

区民と力を
合わせて

日本共産党区議団

公約実現めざして全力で奮闘!



中学3年生までの
医療費無料化
が実現

2007年の区議選
で党区議団は「中学3
年生までの医療費無料
化」を公約。「子どもが病気になった時、お金の心配
なく医者にかかるように」との願いを受けて、党区
議団は繰り返し実施を要求。2008年度から実現
しました。



妊婦健診が14回まで無料に

妊婦健診は1回約1万円、経済力が弱い若い世代
には重い負担です。党区議団は、2008年第二回
定例会から連続3回の本会議質問で区長に実施を迫
りました。区民と力を合わせた取り組みで、
2009年から14回まで無料に。

**18歳未満の子どもの保険証
取り上げをやめさせました**

江戸川区は、国民健康保険料の滞納者に、病院の窓
口で全額医療費を払わなければならぬ資格証明書
を発行。党区議団は「児童福祉法の精神を尊重して家
計が苦しい18歳未満の子どもがいる家庭への資格証
明書の発行はやめるべき」と強く主張し、多田区長に
「国保証とり上げはしない」と約束させました。

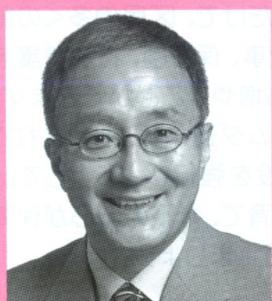


**介護度4・5の
在宅高齢者の
「熟年者激励手当」
を守っています**

石原都政が、介護手当を打ち切り都内全域で手当
が廃止に。党区議団は、手当の存続を要求し続け、廃
止を許さず守っています。

**スーパー堤防は税金のムダ遣い、
事業中止の先頭に**

2006年からあしきけ5年、「北小岩、篠崎公園
地区のスーパー堤防建設計画は住民犠牲と税金ムダ
づかい」と開発優先の区の姿勢を追及。住民の運動と
党区議団の論戦によって、自民党、公明党を除く超党
派の行動に発展。政府の特別会計事業仕分けで「スー
パー堤防事業は廃止」が決定。



日本共産党衆議院議員
笠井 亮

日本共産党区議団は雇用や営業、福祉、子育て
支援、街づくりなど切実な願いの実現へ、いつも区
民のみなさんとともに行動してきました。「スー
パー堤防計画はやめ、税金は暮らしに」という運動
では、私も一緒に調査や交渉に取り組んできました
が、日本共産党が地域のみなさんと声をあげた
運動が、超党派の運動へと広がり、いまや国政を
ゆり動かしています。

住民要求のたしかな担い手として、区政の場へ
大橋みえ子さんを押し上げて下さい。

**尖閣諸島、千島列島、北朝鮮問題は、
外交的・政治的交渉で解決を**

日本共産党区議団が2010年第4回定例会で
提案した「北朝鮮による韓国テ・ヨンピョン島への
砲撃に抗議する決議」が全会一致で可決。北
朝鮮の軍事挑発行動は断じて許せません。尖閣
諸島、千島列島問題では、日本共産党が示した
歴史的経過と国際法による領有の根拠にメディ
アが「アピール、一番」と報じました。

大型開発優先の多田区政

多田区政は貧困と格差を広げた「小泉構造改革」を忠実に実
行。区立保育園を9つも廃止し民営化。さらに、2つの区立園の廢
止を計画。23区で、認証保育所の保育料補助や区立園でのゼロ
歳児保育を行なっていないのは江戸川区だけ。区民が切実に求め
ている特別養護老人ホームは、この4年間増設ゼロです。その一方で、事業計画が決定されていないスーパー堤防建設予定地の土
地、家屋の先行買収には、すでに40億円も区の予算を投入。区
民のくらしは後回しの区政です。